

香取市の土木遺産と 地域づくりの取り組み

令和7年2月14日

香取市 副市長
北原 潤一

本日のお話

- 1 香取市の概況
- 2 市域の歴史
- 3 市域の土木遺産
- 4 市の取り組み
 - 4.1 市民への周知
 - 4.2 市の施策
 - 4.3 新たな取り組み



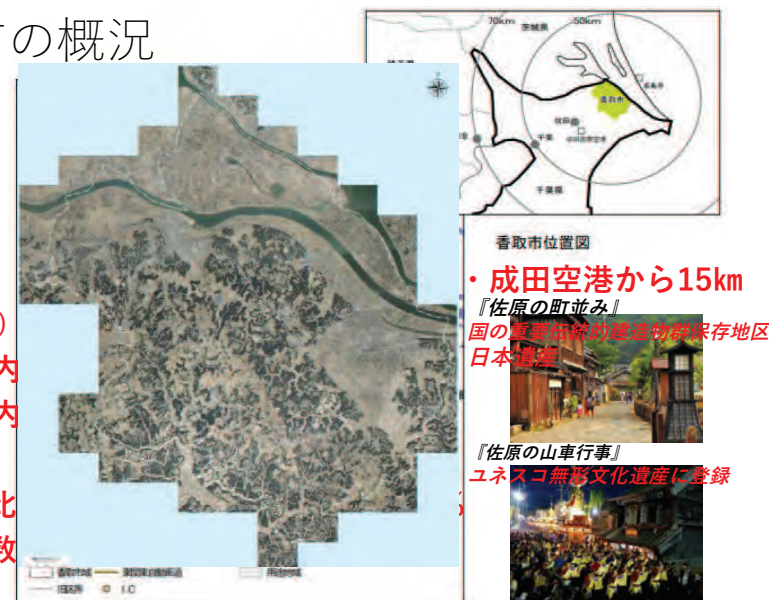
1. 香取市の概況

- ・人口 67,394人 (R7.1.1)
- ・面積 262km²
- ・H18.3.27合併
- ・農業産出額 (R4)
 - 米 51億円 県内1位
 - イモ78億円 県内2位
- ・商業・観光
 - 小売業従業者数比率(R3) 約23% 県平均約20%
 - 観光入れ込み客数約700万人 県内4位 (R元)



1. 香取市の概況

- ・人口 67,394人 (R7.1.1)
- ・面積 262km²
- ・H18.3.27合併
- ・農業産出額 (R4)
 - 米 51億円 県内1位
 - イモ78億円 県内2位
- ・商業・観光
 - 小売業従業者数比率(R3) 約23% 県平均約20%
 - 観光入れ込み客数約700万人 県内4位 (R元)



1. 香取市の概況

- 人口 67,394人 (R7.1.1)
- 面積 262km²
- H18.3.27合併
- 農業産出額 (R4)
 - 米 51億円 県内1位
 - イモ78億円 県内2位
- 商業・観光
 - 小売業従業者数比率(R3) 約23% 県平均約20%
 - 観光入れ込み客数約700万人 県内4位 (R元)



2 市域の歴史

- 縄文・弥生・古墳時代
香取の海（舟運）、香取神宮（神武18年）
- 飛鳥・奈良・平安時代
新郡
- 鎌倉～戦国時代
城郭、矢作、岩ヶ崎城
- 江戸時代
利根川東遷（新島）、佐原宿、小見川藩、油田牧
伊能忠敬

2. 市域の歴史 ～江戸時代

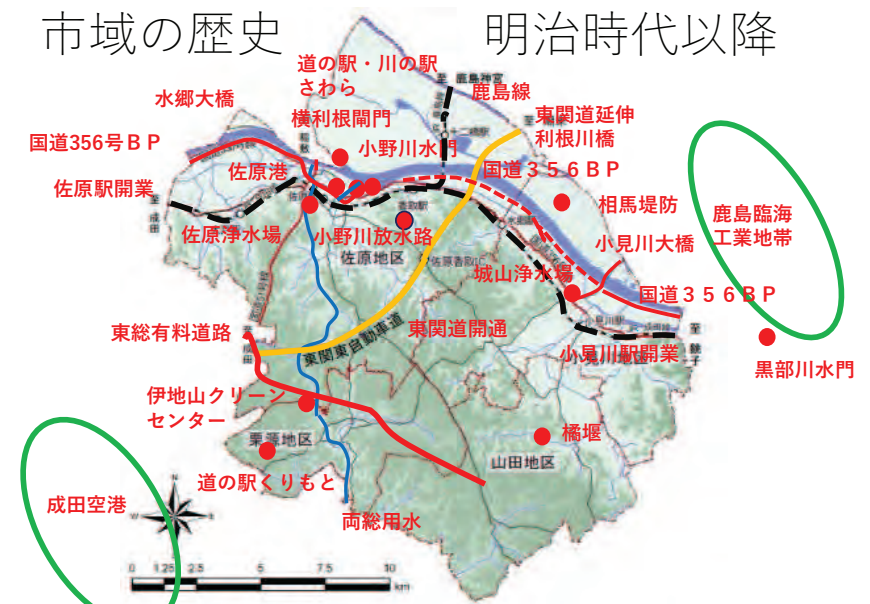


2.市域の歴史 江戸時代

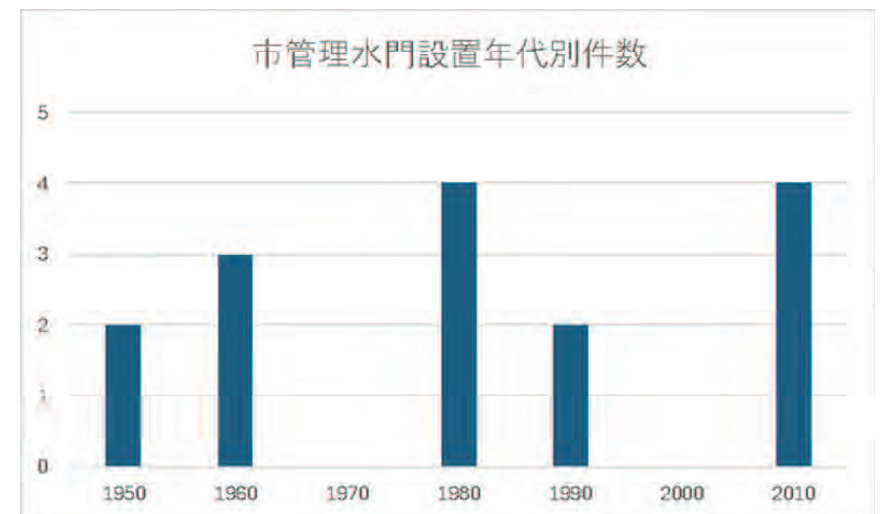


・明治時代 - 利根川舟運 - M3 新治県県庁所在地候補 - M31 鉄道開設（佐原駅） - M40・43 水害 ・大正時代 - T10 横利根閘門 ・昭和時代 - S2 小野川水門 - S11 水郷大橋架設（R51） - S23・24・33 小野川氾濫 - S25～S46 佐原港 - S28 国道51号制定 - S45 鹿島線営業開始 - S46 小野川水門・排水機場 - S50 国道356号指定 - S53 新東京国際空港（成田空港）開港 - S62 東関東 佐原香取IC～潮来IC開通	・平成時代 - H元 黒部川総合開発事業 - H6 国道51号佐原BP 4車線化 - H8 佐原の町並み 伝統的建造物群保存地区選定 - H14 国道356号佐原BP開通 - H16 小野川放水路 - H18 合併・香取市誕生 - H23 東日本大震災 液状化被害 - H28 佐原の山車行事 ユネスコ無形文化遺産登録 ・令和時代 - R4 小見川浄水場更新事業開始 - R5 国道356号香取小見川BP事業化 - R6 国道356号小見川東庄BP開通 - R8 圏央道 大栄JCT～松尾横芝IC開通予定 - 東関東 銚田IC～潮来IC開通予定 - R11 成田空港 更なる機能強化完成予定
---	--

2. 市域の歴史 明治時代以降



3. 市管理施設の土木遺産



草履拔橋（R C T桁 L=5.50m W=6.00m
1934（S9）年）



ジャージャー橋（樋橋）

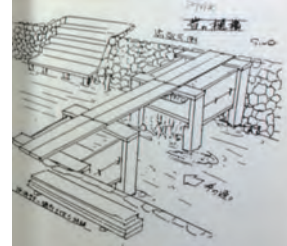
H4 鋼桁架換え（L=12.75m W=3.3m）

H5 送水機構を設置

元々は江戸時代の農業用水
送水のための大樋。

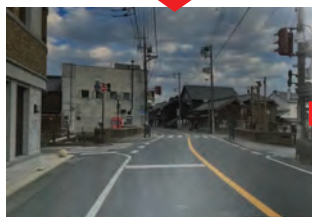
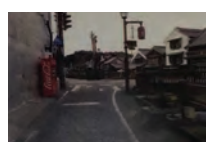
昭和初期にコンクリート橋
に架換え、戦後、送水中止。

H8 環境庁日本の音風景百選



忠敬橋 1982（M15）年 アーチ型石橋に架換え
1968（S43）年 コンクリート橋に架換え
2025（R7）年 電線類地中化に伴う拡幅
（L=11m w=3.8m）完了予定
←R4 佐原地区歴史的景観審議会

◎併せて市は
美装工事を
実施。



4. 市の取り組み

4.1 市民への周知

- ・水郷ウォーク（R5、R6実施）
- ・香取市インフラカード作成・配布（R5～）
- ・測量の日イベント（R5、R6実施）

・水郷ウオーク
(R5.12.16実施)



株式会社 IHI ・株式会社 IHI インフラ建設との共同実証実験



55名参加
8割完走

・水郷ウオーク
(R6.12.21実施)



・香取市インフラカード作成・配布 (R 5 ~)



一番左： R 5 橘ふれあい公園リニューアル時に配布
左： R 6 測量の日イベントにて配布
下： R 6 水郷ウオーク時に配布



・測量の日イベント（R5、R6実施）



R5：（公社）千葉県測量設計業協会共催、貝塚市参加
R6：（一社）香取市地籍調査協会共催、貝塚市・つくばみらい市参加



4.2 市の施策

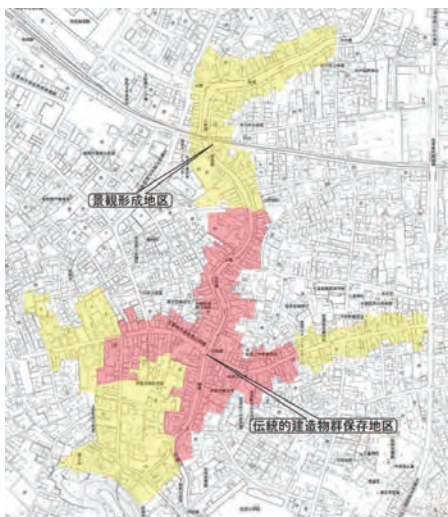
- ・重要伝統的建造物群保存地区選定（H8）
- ・佐原の山車行事 ユネスコ無形文化遺産（H28）
- ・北総4市江戸紀行日本遺産認定（H28）
- ・第2次香取市総合計画（H30）
 - 「豊かな暮らしを育む **歴史文化**・自然の郷 香取」
- ・香取市歴史的風致維持向上計画（H31）
- ・香取市文化財保存活用地域計画（R4）
- ・スローシティの研究に取り組み開始（R6）
- ・「利根川中下流域の川船や県連用具」有形民俗文化財登録申請（県）（R7.1）

・重要伝統的建造物群保存地区（文化財保護法）

「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造群で価値の高いもの」
忠敬橋を中心に小野川沿いや香取街道沿いの道路に面する一宅地を範囲とした12町内。地区内の建築行為は許可制。
県内唯一の地区

・景観形成地区

香取市佐原地区歴史的景観条例に基づいて指定された伝建地区を含む18.6ヘクタールの範囲。歴史的な建築物は景観形成指定建築物に指定。地区内の建築行為は届出制。



・香取市歴史的風致維持向上計画（H31～R10）

文化財に限定
↓
その他の歴史・文化資産を含め香取遺産と定義

・香取市文化財保存活用地域計画（R5～R11）



5つの歴史文化の特徴から見える13の関連文化財群				
歴史文化の特徴	関連文化財群	歴史文化財保存活用地域	文化財群	文化財群
1.香取の海から生まれた歴史	1.香取の海に育まれた歴史文化	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
	2.香取の海沿いの歴史文化	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
2.利根川流域と関係の歴史	3.利根川流域と関係の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
	4.利根川流域と関係の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
3.山手地区の歴史	5.山手地区の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
	6.山手地区の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
4.下総地域の歴史	7.下総地域の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
	8.下総地域の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
5.下総地域の歴史	9.下総地域の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域
	10.下総地域の歴史	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域	香取市歴史文化財保存活用地域

・スローシティの研究



- ◎スローシティとはイタリア発祥のまちづくり運動で、地域の歴史や文化、自然などの個性を大切にしながら、等身大のまちづくりを目指す運動
- ◎国内は気仙沼市・前橋市（赤城）が国際連盟に加盟
- ◎スローなまちづくり全国推進委員会 準会員加盟（R6.8）

←R6.10 「第14回全国発酵食品サミットinかとり」開催



4.3 新たな取り組み

- ・ 小型水門開閉装置の簡易電動化
- ・ 国土交通省ワンコインセンサー実証試験への参加
- ・ VRを活用したまちづくり

・小型水門開閉装置の簡易電動化

R6.3 「広域的な小型水門の操作支援に関する実証試験の覚書」を（株）IHIインフラ建設と締結

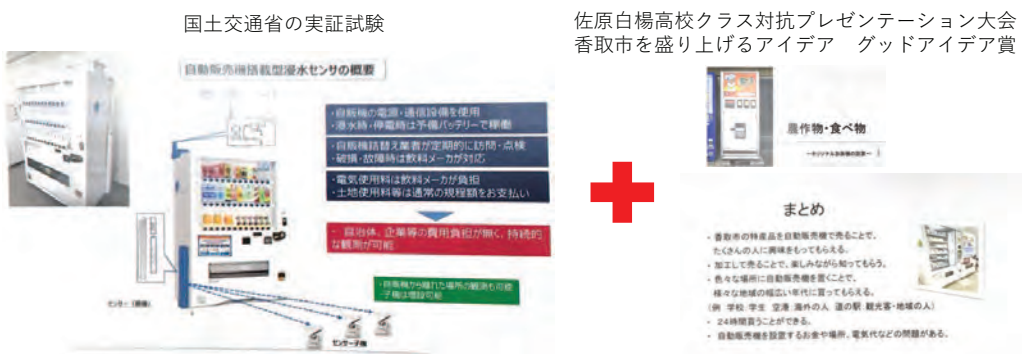
STEP1 S33に設置された水郷落し入樋水門（3.2×3.16）の開閉機の簡易電動化
R6.7 設置完了、
R6.12 改修完了



STEP2
R7 十間川水門に設置予定

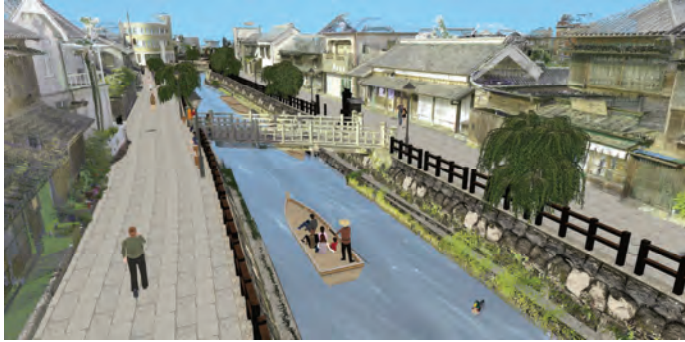
・国土交通省ワンコインセンサー実証試験への参加（R6）

中央大学研究開発機構、（一財）河川情報センター、大塚ウエルネスベンディング（株）、千葉県立佐原白楊高校
自動販売機搭載型浸水センサによる浸水把握と地産品販売（全国初）



・VRを活用したまちづくり

京葉測量株式会社「VRで巡る佐原地区の古い町並み」
3D・VRシミュレーションコンテストオン・クラウド
22nd審査員特別賞受賞（R6）



◎地上レーザー計測器や
ハンディレーザー計測器に
よるデータ計測
⇒デジタルツイン化

◎VR体験の実施
R5測量の日イベント
R6測量の日イベント
R6佐原の大祭

◎シミュレーション活用
R6～7
新設橋梁デザインコンペ
橋梁補修・照明景観検証

本日の話のまとめ

・まちづくりは完成（完了）しない

地域固有の課題が常に存在
⇒インフラで対応⇒積み重ねが土木史・土木遺産

・様々な行政課題、住民意識の変化

課題解決の為に**共通バックボーン**として**郷土土木史**は重要

←管理者を含む土木インフラの（歴史的・デザインの）価値の認識
経済性優先、組織の縦割り、人材不足

・既存インフラをうまく活用する（本来機能、観光資源、新規ビジネスの喚起）

⇒AIや情報技術の活用、住民参加